

## ISOSPIN Blood & Plasma DNA を用いた HeLa 細胞からのゲノム DNA 抽出

「ISOSPIN Blood & Plasma DNA」(Code No.312-08131) のプロトコールを改変して、HeLa 細胞 ( $1.0 \times 10^6$  cells) からのゲノム DNA 抽出の実験例をご紹介します。

### 改変プロトコール

#### <本キット以外に必要な試薬>

- ・ 99.5% Ethanol
- ・ Ribonuclease (DNase free) Glycerol Solution (Code No.312-01931)

#### <プロトコール>

サンプル<sup>注)</sup> (HeLa 細胞 :  $1.0 \times 10^6$  cells)

注) 培養液などは可能な限り除去し、HeLa 細胞のペレットをタッピングしてほぐしておく。

- ← 20  $\mu$ L Proteinase K
- ← 500  $\mu$ L dd.H<sub>2</sub>O で 1/2 希釈した BE Buffer  
15 秒間 ボルテックスミキサーで攪拌  
56°C 10 分間加温
- ← 50  $\mu$ L 10mg/mL Ribonuclease (DNase free) Glycerol Solution  
室温 5 分間 放置
- ← 250  $\mu$ L 99.5% Ethanol  
15 秒間 ボルテックスミキサーで攪拌

↓  
Spin Column に混合液を全量添加

↓  
以降は、製品マニュアルの<抽出プロトコール>ステップ⑦から同様に操作する。

DNA の溶出 (ステップ⑮) は 100  $\mu$ L の Elution Buffer をメンブレン中央に滴下した。

#### <データ>



Lane 1 : HeLa 細胞 (100 ng)

Lane M : OneSTEP Marker 6 (5  $\mu$ L)

#### 図 1. 吸光度測定およびアガロースゲル電気泳動結果

改変プロトコールで抽出した DNA 溶液を吸光度測定した結果、A260/A280 比は 1.85、収量は約 113 ng/ $\mu$ L の DNA が得られた。続いて、吸光度測定値に基づいて定量した 100 ng の DNA 溶液を 1% Agarose S/TAE ゲルで電気泳動を行った。